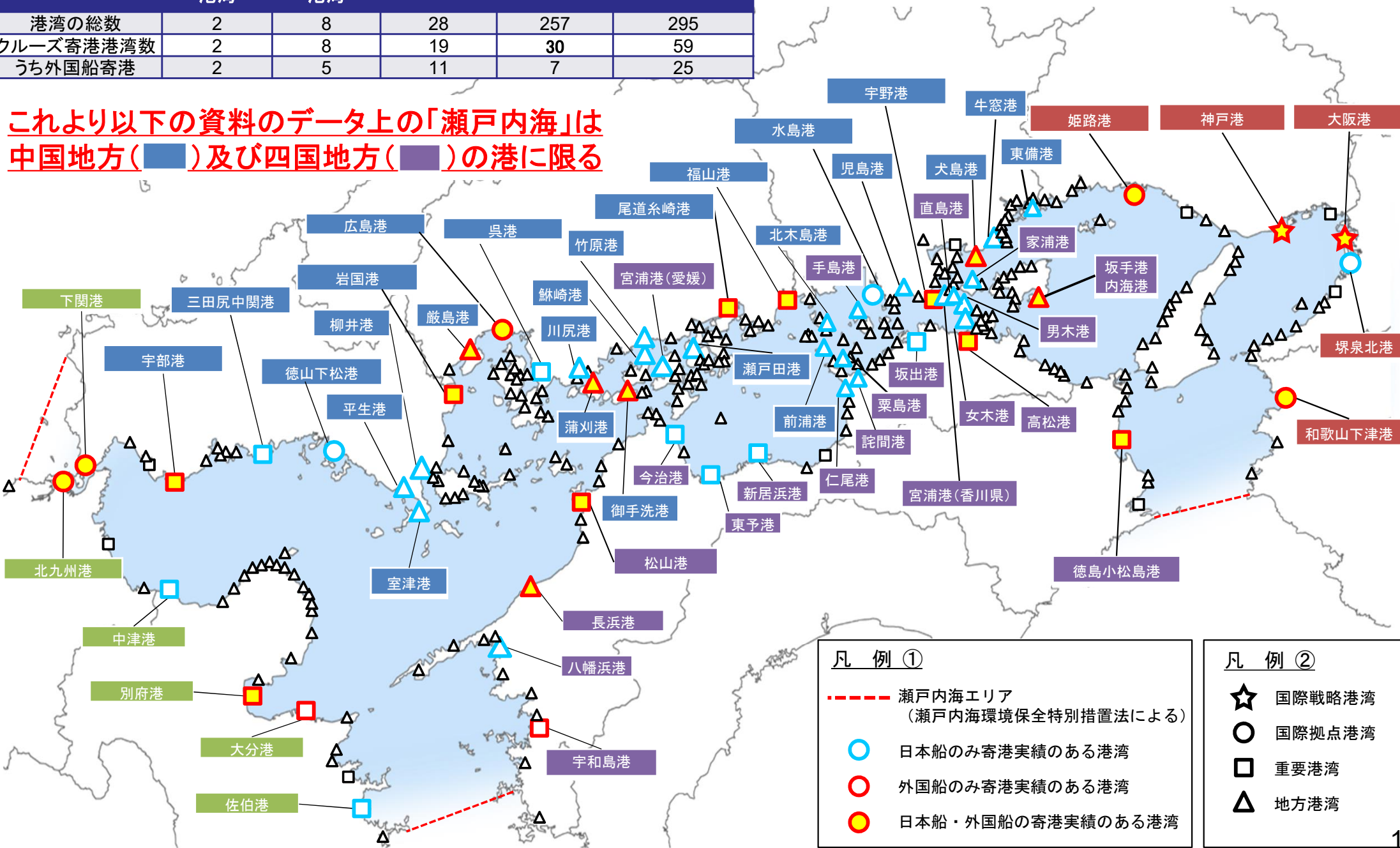


瀬戸内海におけるクルーズの動向について

瀬戸内海における港湾

	国際戦略港湾	国際拠点港湾	重要港湾	地方港湾	計
港湾の総数	2	8	28	257	295
クルーズ寄港港湾数	2	8	19	30	59
うち外国船寄港	2	5	11	7	25

これより以下の資料のデータ上の「瀬戸内海」は中国地方(■)及び四国地方(■)の港に限る



凡例①

- 瀬戸内海エリア (瀬戸内海環境保全特別措置法による)
- 日本船のみ寄港実績のある港湾
- 外国船のみ寄港実績のある港湾
- 日本船・外国船の寄港実績のある港湾

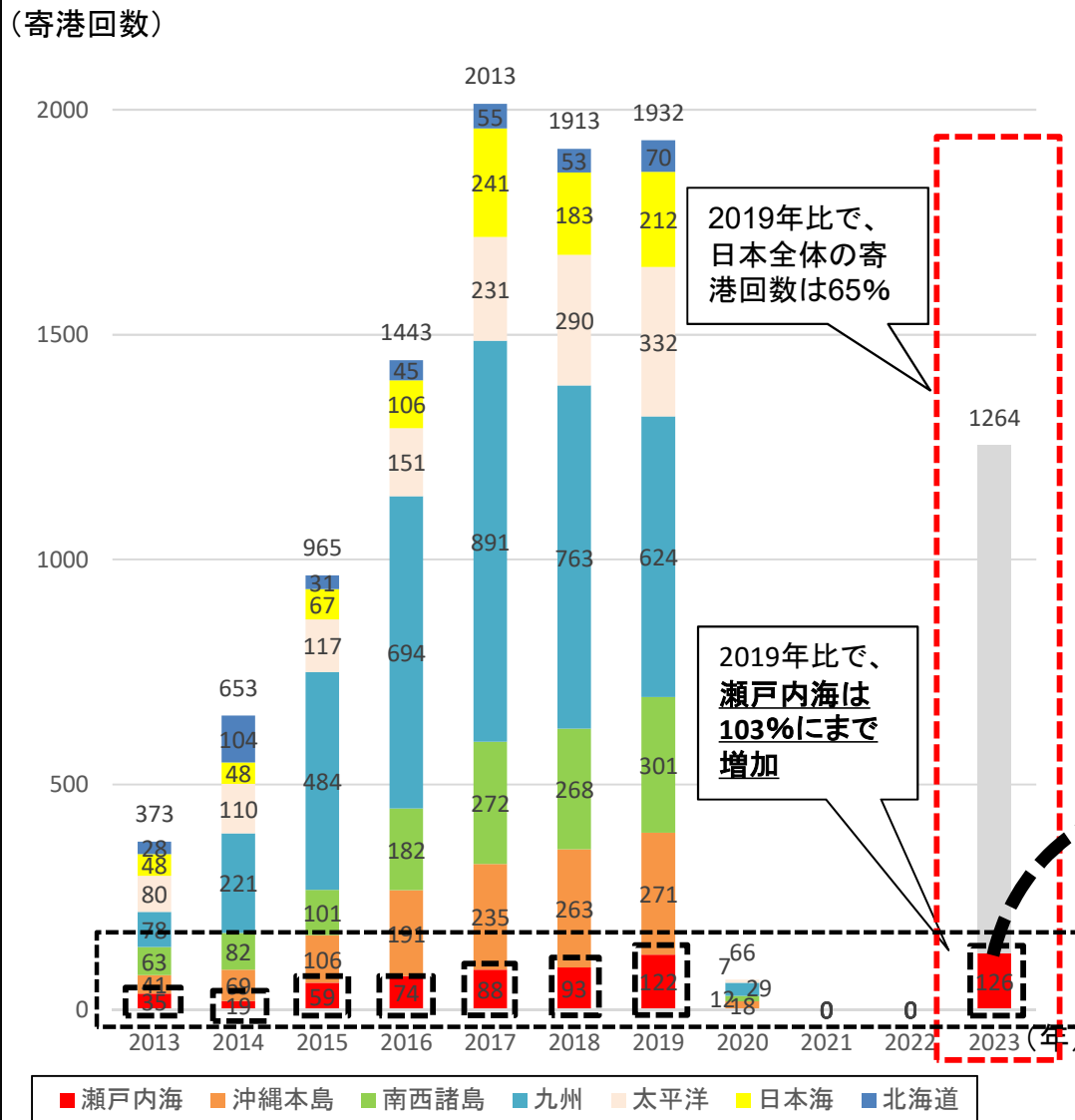
凡例②

- ☆ 国際戦略港湾
- 国際拠点港湾
- 重要港湾
- △ 地方港湾

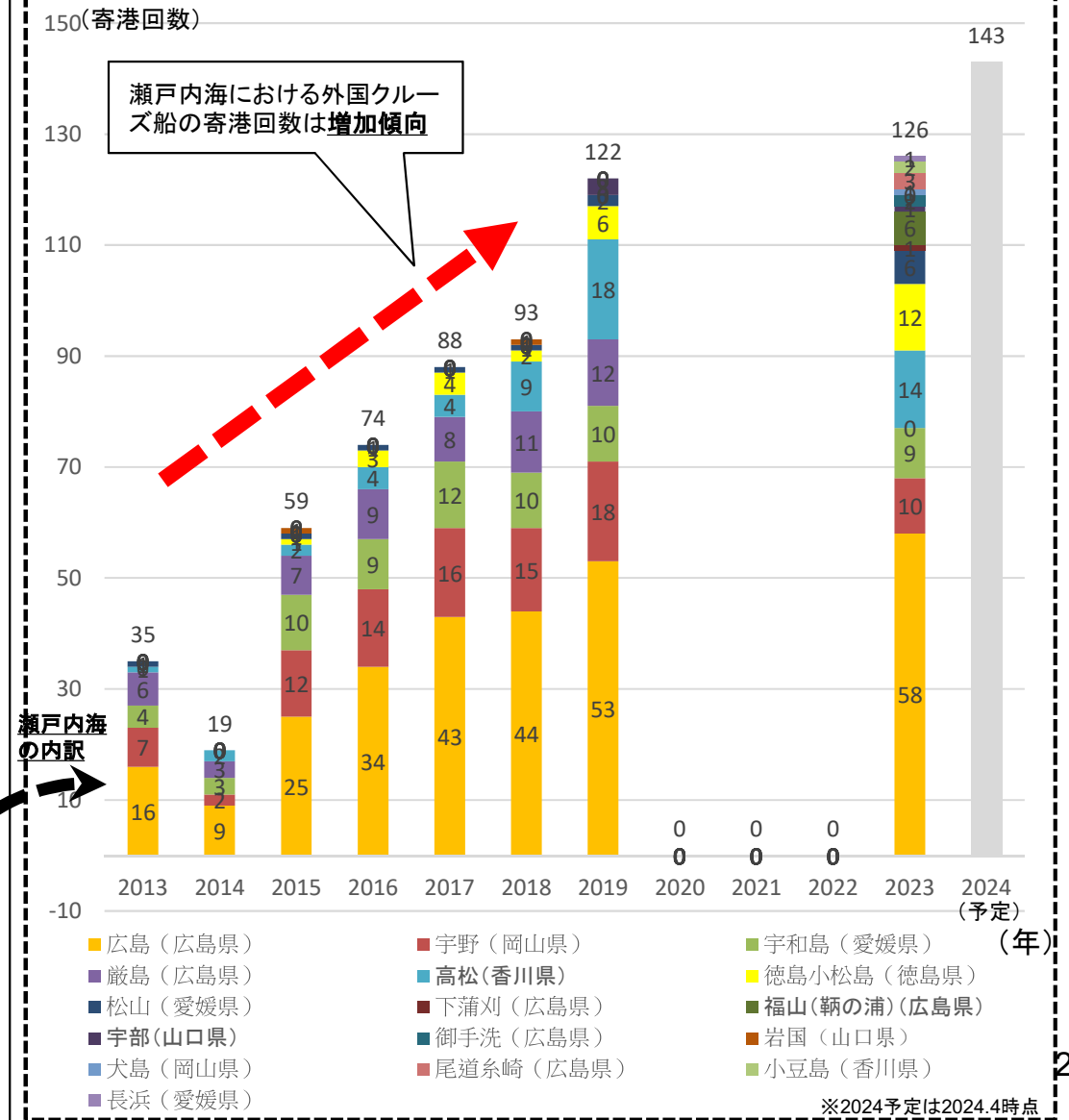
2023年の瀬戸内海における外国クルーズ船の寄港回数

○2023年における全国の外国クルーズ船寄港回数は、コロナ禍前(2019年)の約65%となっている。
 ○一方、瀬戸内海については、寄港回数はコロナ禍前水準を上回る約103%となっている。

日本全体における外国クルーズ船の寄港回数(地域別)



瀬戸内海における外国クルーズ船の寄港回数

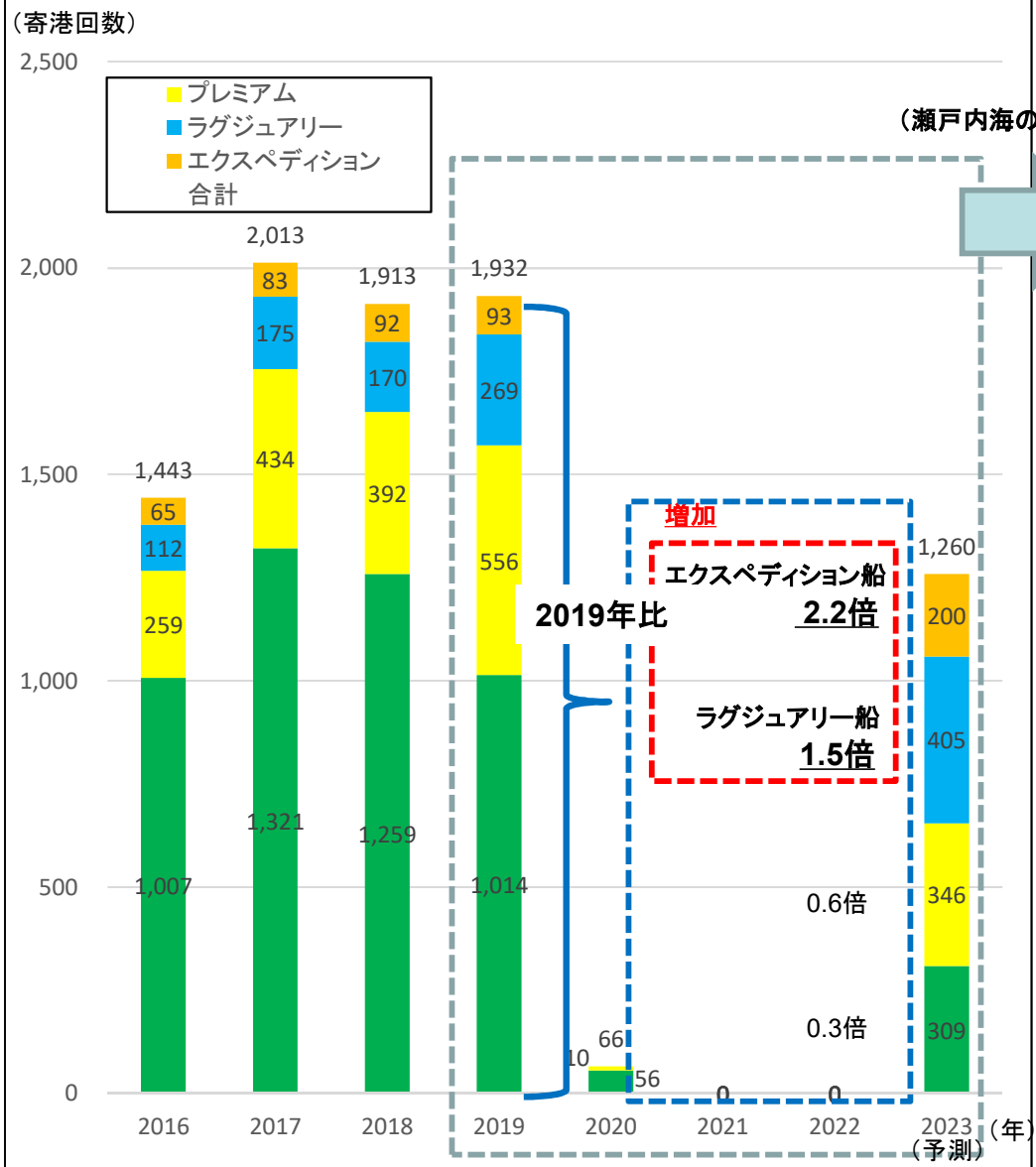


2023年の瀬戸内海における外国クルーズ船の寄港回数(クラス別)

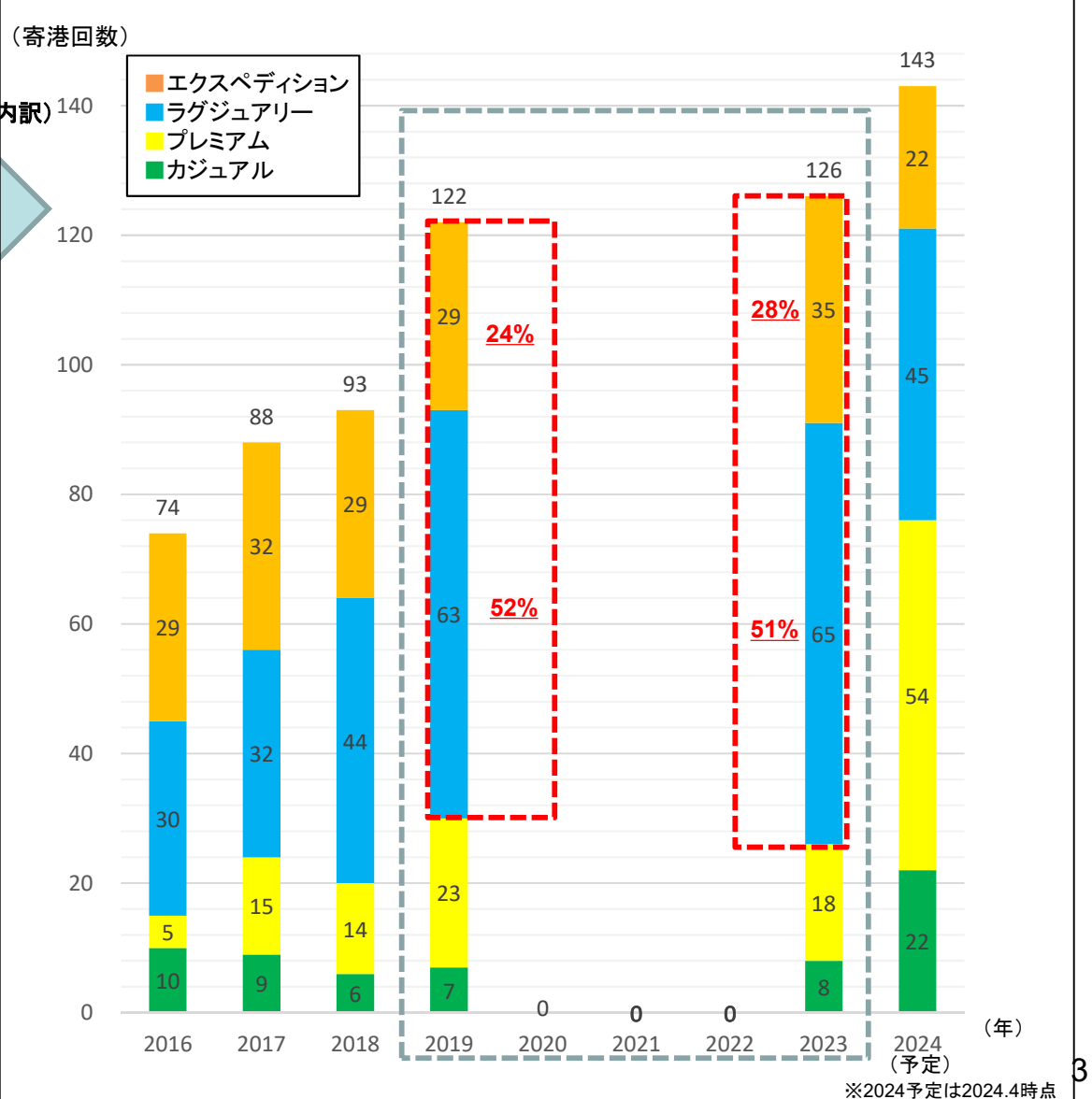
○日本全体において、2023年は、ラグジュアリー・エクスペディション船の寄港回数の割合が増加しており、コロナ禍前(2019年)と比較して、エクスペディション船が2.2倍、ラグジュアリー船が1.5倍となっている。

○瀬戸内海においては、コロナ禍前からラグジュアリー・エクスペディション船の割合が高く、全体として回復が早くなっている。

日本全体の外国クルーズ船寄港回数の内訳(クラス別)



瀬戸内海の外国クルーズ船寄港回数の内訳(クラス別)



※2024年予測は2024.4時点

2023年に瀬戸内海の港湾等に寄港したクルーズ船一覧①

○2023年に瀬戸内海の港湾に寄港したクルーズは126回。
○その内訳は、エクスペディションクラス(35回)、ラグジュアリークラス(65回)、プレミアムクラス(18回)、カジュアルクラス(8回)となっており、エクスペディション・ラグジュアリークラスの占める割合が約79%と高くなっている。

エクスペディションクラス(35回)

〈シーニック・クルーズ〉

シーニック・エクリプス：総トン数17,545トン・乗客定員228人

松山港：2回、広島港：1回、宇野港：1回

〈リンドブラッド・エクスペディションズ〉

ナショナル・ジオグラフィック・レゾリューション：総トン数12,786トン・乗客定員126人

宇和島港：2回、小豆島：1回、高松港：2回、宇野港：3回、広島港：3回、長浜港1回

〈ヘリテージ・エクスペディションズ〉

ヘリテージ・アドベンチャー：総トン数8,445トン・乗客定員140人

宇和島港：3回、高松港：3回、宇野港：2回、広島港：4回、宇部港：1回

〈コーラル・エクスペディションズ〉

コーラル・アドベンチャー：総トン数5,536トン・乗客定員120人

松山港：1回、徳島小松島港：1回、広島港：1回、小豆島：1回

〈ハパグロイド・クルーズ〉

ハンセアティック・ネイチャー：総トン数15,651トン・乗客定員230人

広島港：2回

ラグジュアリークラス(65回)

〈リージェント・セブンシーズ・クルーズ〉

セブンシーズ・エクスプローラー：総トン数55,254トン・乗客定員732人

広島港：4回

〈招商バイキングクルーズ〉

招商伊敦：総トン数48,000トン・乗客定員930人

広島港：5回、徳島小松島港：10回

〈ウインドスター・クルーズ〉

スター・ブリーズ：総トン数12,969トン・乗客定員312人

高松港：6回、広島港：4回、尾道糸崎港：2回、福山港：3回

〈ボナン〉

ル・ソレアル：総トン数10,992トン・乗客定員264人

広島港：4回、宇和島港：4回、高松港：1回、犬島：1回、福山港：3回、宇野港：4回、蒲刈：1回、御手洗：2回、尾道糸崎：1回

〈シルバーシー・クルーズ〉

シルバー・ウィスパー：総トン数：28,258トン・乗客定員388人

広島港：5回

シルバー・ミュージック：総トン数：40,700トン・乗客定員596人

広島港：2回

〈ハパグロイド・クルーズ〉

オイローパ2：総トン数42,830トン・乗客定員500人

広島港：1回

〈バイキングオーシャン・クルーズ〉

バイキングオリオン：総トン数48,000トン・乗客定員930人

広島港：2回

○2023年に瀬戸内海の港湾に寄港したクルーズは126回。
○その内訳は、エクスペディションクラス(35回)、ラグジュアリークラス(65回)、プレミアムクラス(18回)、カジュアルクラス(8回)となっており、エクスペディション・ラグジュアリークラスの占める割合が約79%と高くなっている。

プレミアムクラス(18回)

- 〈プリンセス・クルーズ〉
ダイヤモンド・プリンセス：総トン数115,906トン・乗客定員2,706人
広島港：3回、松山港1回
- 〈ホーランド・アメリカ・ライン〉
ウエステルダム：総トン数82,862トン・乗客定員1,964人
徳島小松島港：1回、広島港：1回
- 〈オーシャンア・クルーズ〉
ノーティカ：総トン数30,277トン・乗客定員684人
広島港：5回
- インシグニア：総トン数30,277トン・乗客定員684人
広島港：1回
- レガッタ：総トン数30,277トン・乗客定員684人
広島港：1回
- 〈アザマラ・クルーズ〉
アザマラ・クエスト：総トン数30,277トン・乗客定員702人
高松港：2回、広島港：2回
- 〈セレブリティ・クルーズ〉
セレブリティ・ミレニアム：総トン数90,940トン・乗客定員2,218人
広島港：1回

カジュアルクラス(8回)

- 〈MSCクルーズ〉
MSCベリッシマ：総トン数171,598トン・乗客定員4,418人
松山港：2回、広島港：2回
- 〈ノルウェー جان・クルーズ・ライン〉
ノルウェー ジュエル：総トン数93,502トン・乗客定員2,376人
広島港：1回
- 〈フェニックス・ライゼン〉
アマデア：総トン数29,008トン・乗客定員600人
広島港：1回
- 〈カーニバル・クルーズ・ライン〉
カーニバル・ルミノーザ：総トン数92,720トン・乗客定員2,260人
広島港：1回
- 〈ブルードリームスター・クルーズ〉
ブルードリームスター：総トン数24,318トン・乗客定員836人
広島港：1回

外国クルーズ船の寄港する港湾等の数

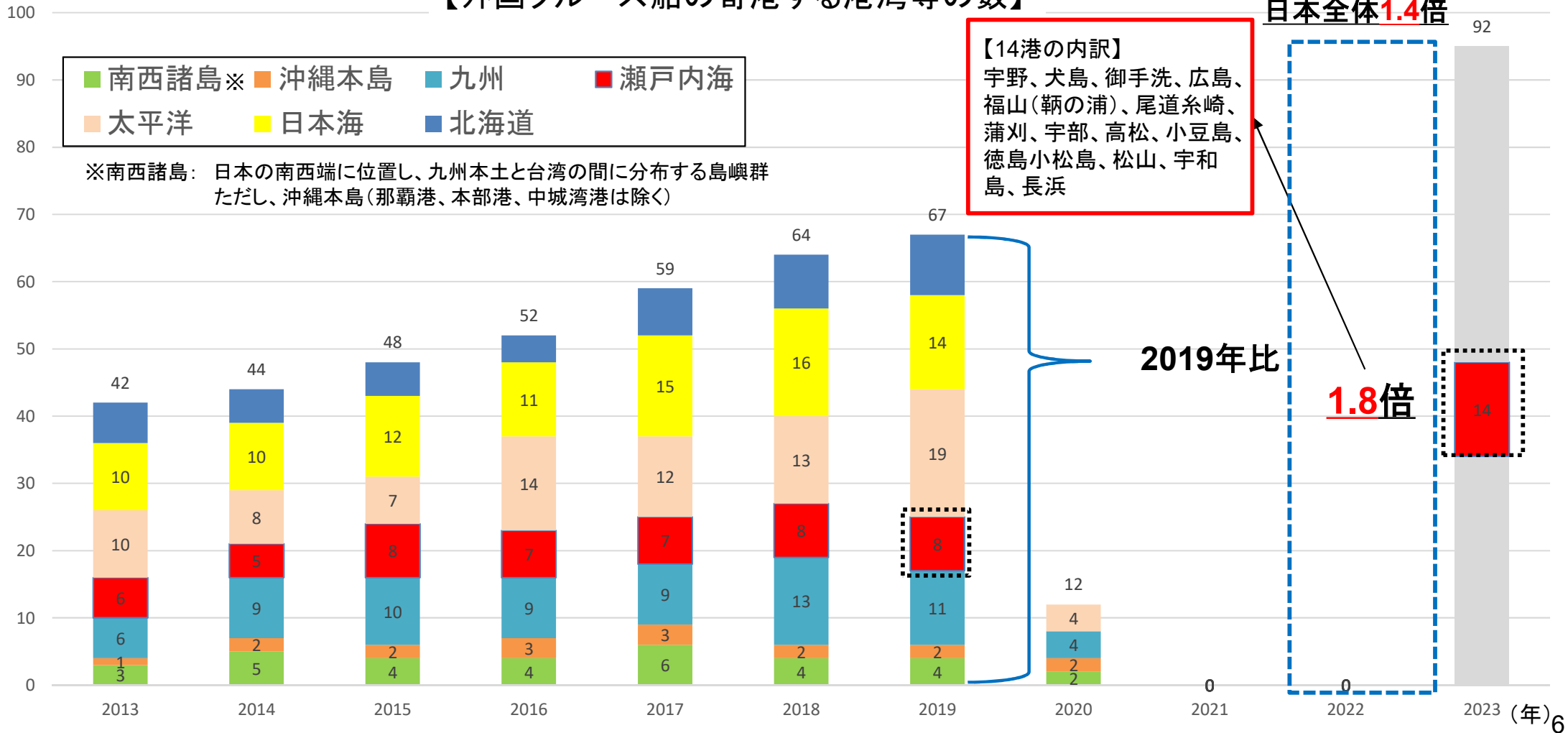
○2023年に外国クルーズ船の寄港した港湾等※1の数は、92※2で、コロナ禍前(2019年)の約1.4倍となっている。
 ○瀬戸内海において、2023年に外国クルーズ船の寄港した港湾等の数は14で、コロナ禍前(2019年)の約1.8倍となっている。

※1: 港湾等: 港湾法上の港湾(国際戦略港湾、国際拠点港湾、重要港湾、地方港湾、56条港湾)、漁港、離島(沖泊)

※2: うち、漁港2港、離島(沖泊)3か所

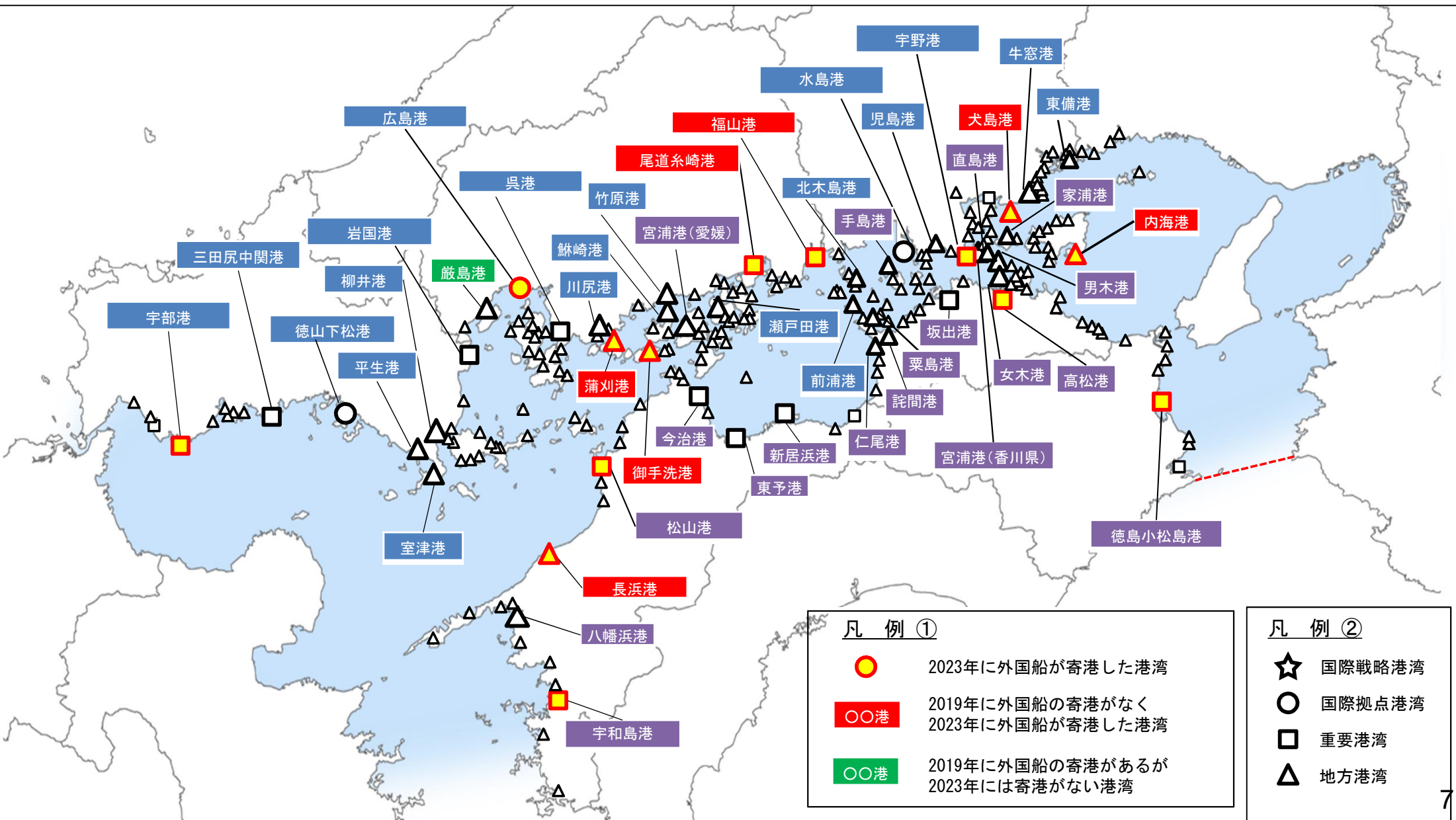
(港湾等の数)

【外国クルーズ船の寄港する港湾等の数】



瀬戸内海における外国クルーズ船の寄港箇所(2023)

○瀬戸内海において2023年に外国船が寄港したのは14港であり、2019年の8港から6港増加した。
 (犬島港、御手洗港、福山港(鞆の浦)、尾道系崎港、蒲刈港、内海港、長浜港)
 ※厳島港は反対に2019年に寄港実績があるが2023年に寄港していない



凡例①

	2023年に外国船が寄港した港湾
	2019年に外国船の寄港がなく 2023年に外国船が寄港した港湾
	2019年に外国船の寄港があるが 2023年には寄港がない港湾

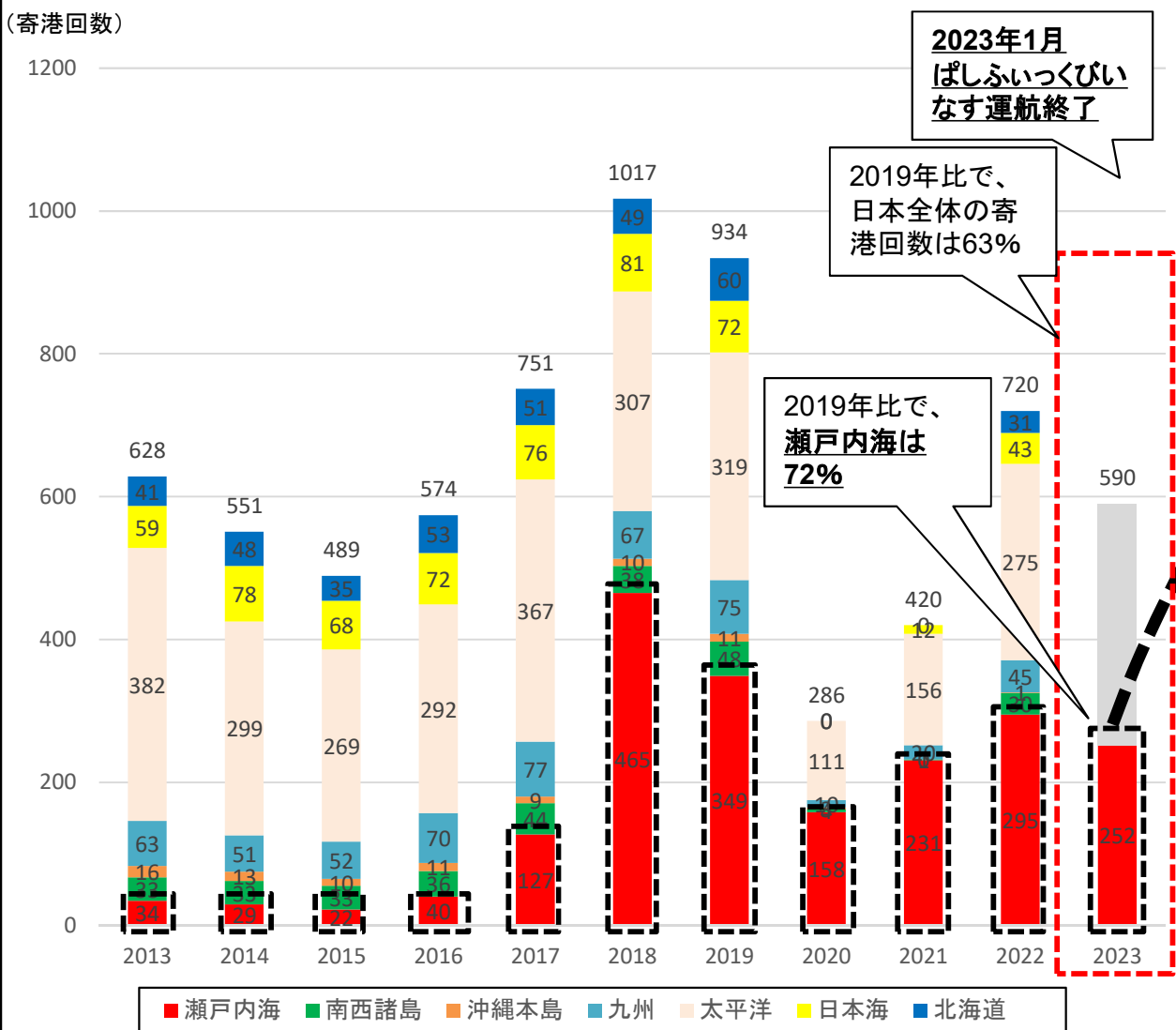
凡例②

	国際戦略港湾
	国際拠点港湾
	重要港湾
	地方港湾

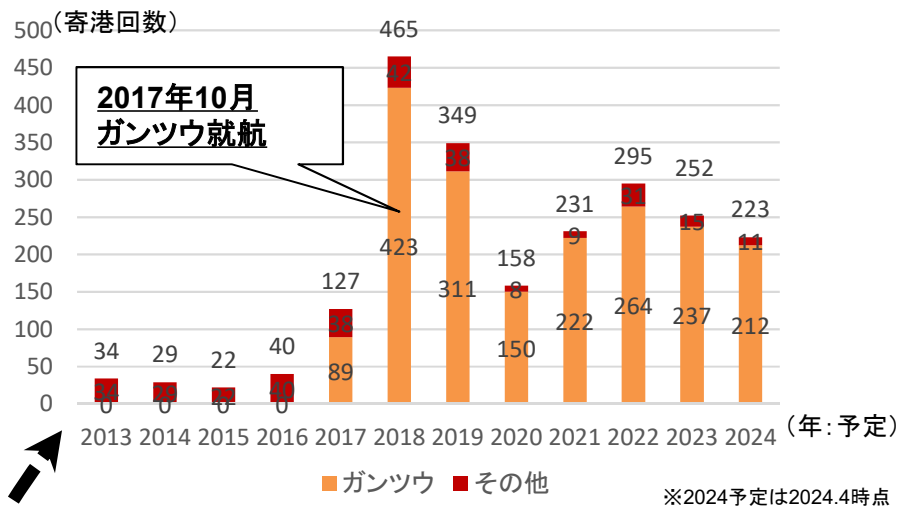
瀬戸内海における邦船クルーズの寄港回数の動向

○日本全体において2023年の邦船クルーズの寄港回数は566回で、日本クルーズ客船のクルーズ事業終了(2023年1月にぱしふいっくびーなす運航終了)の影響により、2022年の720回から減少した。
 ○一方、瀬戸内海において2023年の邦船クルーズの寄港回数は、2022年から252回に減少しているが、全国寄港回数の43%を占める。瀬戸内海の寄港回数は252回のうち、ガンツウが237回となっている。

日本全体における邦船クルーズの寄港回数の内訳(地域別)



瀬戸内海における邦船クルーズの寄港回数の内訳



ガンツウ

船社: せとうちクルーズ(広島県)

総トン数: 3,200トン 全長: 81.2m 乗客定員: 38人



運航ルート(例)

“恍惚の瀬戸を巡り、古を慈しむ3日間”

(2023年6月～, 月1～2回程度)

ベラリスタマリーナ～尾道水道～三原瀬戸～契島～安芸難大橋～音戸の瀬戸～広島・宮島沖～大黒神島～桂島水道～津和地瀬戸～二神島～釣島水道～斎灘～愛媛・大三島沖～鼻栗瀬戸～引削瀬戸～百島～ベラリスタマリーナ